

総社地区地域福祉活動計画

総社地区

総社町大渡, 総社町野馬, 総社町巢烏, 総社町鍛冶町, 総社町栗島,
総社町大屋敷, 総社町山王, 総社町新田, 総社町立石, 総社町桜が丘,
総社町植野, 総社町高井, 総社町城川



＜地域福祉活動実務者交流会の様子＞



＜ふれあいの広場で子どもたちが
車椅子を体験＞

つながりのあるまち
安心して暮らせるまち
支え合いのあるまち

めざす地区の将来像

世代をつなぎ、誰もが安心して暮らせる、
支え合いのあるまち

地区の情報

歴史や文化を大切にしながら住民同士の交流を育んできました。

近年は子育て世帯や若い世代の転入が進み、多様な世代が共に暮らす地域へと変化しつつ、従前からの住民と新しい住民が交流する機会を、今後さらに広げていくことが期待されています。

令和6年度地区社協研修の際に行ったアンケートでは「サロンや居場所づくり」「見守り活動」「支え合い」「仲間づくり」「活動の広報」に関心が寄せられています。

地区の課題

新旧住民・世代間の交流機会の確保

参加しやすい居場所づくりや交流の場の確保、地域全体の一体感を育成するための新旧住民・世代間交流の推進が求められている。

多様な住民への支え合い体制の確保

高齢者や子育て世代など、多様な住民に対応した見守り・支え合いの環境づくりが求められている。

活動の継続を担う人材の確保

担い手の育成等による持続可能な活動に向けた取り組みが求められている。

取り組むこと

多世代の居場所づくりと支え合いの推進

「サロンや居場所づくり」を広げ、多世代が自然に顔を合わせられる交流拠点を整備する

日常的な声かけや見守り活動を住民同士で支え合える仕組みづくりを進め、孤立防止を図る

新たな担い手の発掘と育成

周知広報活動等に配慮しながら、若い世代や新住民も参加しやすい活動を展開し、担い手を育てる

歴史・文化を通じて交流を深める

歴史や文化資源を生かした行事を通じて、新旧住民や世代を超えた交流を深める